



## 2026年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年9月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク  
コード番号 7614

上場取引所 東  
URL <https://www.om2.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 竜太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理部長 (氏名) 木田橋 友  
半期報告書提出予定日 2025年9月12日 配当支払開始予定日

TEL 03 (5405) 9541  
-

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年2月1日～2025年7月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期中間期	17,298	8.6	542	△25.0	651	△18.9	404	△21.5
2025年1月期中間期	15,926	1.4	723	△19.5	803	△11.3	515	△10.4

(注) 包括利益 2026年1月期中間期 412百万円 (△26.8%) 2025年1月期中間期 563百万円 (△2.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期中間期	60.70	-
2025年1月期中間期	76.60	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年1月期中間期	22,640	17,426	77.0	2,616.89
2025年1月期	22,062	17,237	78.1	2,589.30

(参考) 自己資本 2026年1月期中間期 17,426百万円 2025年1月期 17,237百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	-	0.00	-	34.00	34.00
2026年1月期	-	0.00	-	-	-
2026年1月期（予想）	-	-	-	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	8.3	1,480	0.4	1,580	△5.7	910	△17.2	136.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2.(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年1月期中間期	7,335,634株	2025年1月期	7,335,634株
2026年1月期中間期	676,394株	2025年1月期	678,430株
2026年1月期中間期	6,657,884株	2025年1月期中間期	6,724,678株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、賃上げの動きの広がり等により、雇用・所得環境の改善に加え、訪日外国人客の消費拡大等により、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、物価高による消費マインドの下振れや米国の関税政策の影響等のリスクは払拭されておらず、先行きの極めて不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であるものの、平均気温の上昇で猛暑が続いたことで肉の消費にも影響がみられ、消費者の節約志向の中、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、原料相場の高騰、物流費の増加等により、厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むとともに、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。食肉等の小売業においては、不採算店閉鎖を実施するとともに、新規ディベロッパーとの取組みを含めた出店や改装店の立ち上げを進めてまいりました。また新商品の開発も図り、魅力ある商品や売り場の構築等を実施してまいりました。

外食業にあつては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、国産米をはじめとする原材料価格やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。

以上により、当中間連結会計期間の売上高は172億98百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は5億42百万円(同25.0%減)、経常利益は6億51百万円(同18.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億4百万円(同21.5%減)となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

#### 「食肉等の小売業」

当中間連結会計期間の開店は3店、閉店は3店であり、当中間連結会計期間末の店舗数は148店になりました。内訳は食肉小売店137店(前期末比1店減少)、惣菜小売店11店(同1店増加)であります。当セグメントを取り巻く環境は上述の通りで、売上高は前年同期では損益取込していないオオタ総合食品(株)の影響もあり121億28百万円(前年同期比4.2%増)としたものの、原料相場の高騰等の影響を受け営業利益は5億円(同22.7%減)となりました。尚、本事業を管轄する子会社3社の当中間連結会計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーミート	2025年2月1日～2025年7月31日
(株)マルチョウ神戸屋	2024年11月1日～2025年4月30日
オオタ総合食品(株)	2024年12月1日～2025年5月31日

#### 「外食業」

当中間連結会計期間の閉店は2店であり、当中間連結会計期間末の店舗数は47店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、売上高はインバウンドや大型パーティー需要が寄与した他、前年同期では損益取込していない(株)雄和の影響もあり売上高は51億70百万円(前年同期比20.7%増)としたものの、原料相場やエネルギー価格、人件費の上昇等の影響を受け営業利益は2億39百万円(同12.5%減)となりました。尚、本事業を管轄する子会社3社の当中間連結会計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業)	2024年12月1日～2025年5月31日
(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業)	2025年1月1日～2025年6月30日
(株)雄和(焼肉事業)	2025年1月1日～2025年5月31日

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の主要勘定の金額及び前連結会計年度末比は以下の通りであります。

流動資産	133億98百万円(前期末比+4.4%)
固定資産	92億41百万円(同+0.1%)
総資産	226億40百万円(同+2.6%)
流動負債	35億91百万円(同+3.0%)
固定負債	16億22百万円(同+21.1%)
純資産	174億26百万円(同+1.1%)
負債・純資産合計	226億40百万円(同+2.6%)

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月期の連結業績予想につきましては、2025年3月14日に公表いたしました内容に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,738,132	7,921,872
受取手形及び売掛金	613,345	498,451
テナント未収入金	1,402,568	1,278,999
有価証券	—	2,800,000
商品及び製品	579,643	544,156
原材料及び貯蔵品	43,138	46,799
未収入金	296,086	192,420
その他	160,725	118,559
貸倒引当金	△3,065	△2,807
流動資産合計	12,830,576	13,398,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,308,493	5,273,132
減価償却累計額	△3,063,348	△3,065,677
建物及び構築物(純額)	2,245,145	2,207,454
機械装置及び運搬具	620,528	623,619
減価償却累計額	△467,092	△477,194
機械装置及び運搬具(純額)	153,435	146,424
土地	1,895,572	1,895,572
その他	2,426,473	2,430,876
減価償却累計額	△2,044,835	△2,042,110
その他(純額)	381,637	388,765
減損損失累計額	△847,090	△842,131
有形固定資産合計	3,828,699	3,796,085
無形固定資産		
のれん	465,419	413,275
その他	91,114	108,191
無形固定資産合計	556,533	521,466
投資その他の資産		
投資有価証券	2,335,369	2,406,260
長期貸付金	10,060	9,584
繰延税金資産	169,373	185,758
退職給付に係る資産	206,340	210,093
敷金及び保証金	960,292	921,865
その他	1,165,377	1,190,658
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,846,811	4,924,218
固定資産合計	9,232,045	9,241,771
資産合計	22,062,622	22,640,223

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (2025年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,069,988	1,948,621
1年内返済予定の長期借入金	100,000	191,428
未払金	393,167	351,267
未払法人税等	185,567	231,233
賞与引当金	86,080	139,604
その他	650,292	729,129
流動負債合計	3,485,095	3,591,285
固定負債		
長期借入金	407,134	719,812
役員退職慰労引当金	38,752	6,952
退職給付に係る負債	60,805	65,675
資産除去債務	289,703	287,927
その他	543,627	542,065
固定負債合計	1,340,021	1,622,433
負債合計	4,825,117	5,213,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,393,764	1,394,665
利益剰余金	16,014,924	16,192,738
自己株式	△702,991	△700,887
株主資本合計	17,172,397	17,353,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,332	43,624
退職給付に係る調整累計額	31,774	29,663
その他の包括利益累計額合計	65,106	73,288
純資産合計	17,237,504	17,426,504
負債純資産合計	22,062,622	22,640,223

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
売上高	15,926,370	17,298,695
売上原価	9,773,446	10,470,671
売上総利益	6,152,924	6,828,024
販売費及び一般管理費	5,429,729	6,285,662
営業利益	723,194	542,361
営業外収益		
受取利息	7,581	6,810
受取配当金	437	3,682
持分法による投資利益	50,676	61,508
家賃収入	181	955
協賛金収入	14,804	14,808
受取手数料	459	459
その他	8,483	26,811
営業外収益合計	82,623	115,034
営業外費用		
支払利息	54	4,336
その他	2,142	1,171
営業外費用合計	2,197	5,507
経常利益	803,620	651,889
特別利益		
有形固定資産売却益	3,494	821
特別利益合計	3,494	821
特別損失		
有形固定資産売却損	767	—
有形固定資産除却損	951	7,747
無形固定資産除却損	—	2,270
店舗閉鎖損失	831	1,308
投資有価証券売却損	—	2,000
減損損失	3,951	30,975
特別損失合計	6,501	44,300
税金等調整前中間純利益	800,613	608,410
法人税、住民税及び事業税	254,021	217,588
法人税等調整額	31,500	△13,337
法人税等合計	285,521	204,251
中間純利益	515,091	404,158
親会社株主に帰属する中間純利益	515,091	404,158

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
中間純利益	515,091	404,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,233	2,649
退職給付に係る調整額	△724	△580
持分法適用会社に対する持分相当額	47,949	6,112
その他の包括利益合計	48,458	8,181
中間包括利益	563,550	412,339
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	563,550	412,339

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	800,613	608,410
減価償却費	142,262	171,743
減損損失	3,951	30,975
のれん償却額	42,183	73,585
受取利息及び受取配当金	△8,018	△10,492
支払利息	54	4,336
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4,414	△4,635
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,411	4,870
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,683	53,524
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,102	△31,799
投資有価証券売却損益(△は益)	—	2,000
有形固定資産除却損	951	7,747
無形固定資産除却損	—	2,270
持分法による投資損益(△は益)	△50,676	△61,508
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,727	△821
売上債権の増減額(△は増加)	125,751	238,463
棚卸資産の増減額(△は増加)	33,480	31,825
仕入債務の増減額(△は減少)	53,357	△121,366
その他	△99,217	138,378
<b>小計</b>	<b>1,070,926</b>	<b>1,137,507</b>
利息及び配当金の受取額	8,018	10,492
利息の支払額	△54	△4,336
法人税等の支払額	△380,470	△168,737
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>698,420</b>	<b>974,925</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△20,840
定期預金の払戻による収入	—	65,960
有形固定資産の取得による支出	△226,564	△158,293
有形固定資産の売却による収入	6,455	4,880
投資有価証券の取得による支出	△618	△1,040
短期貸付けによる支出	△1,000	—
短期貸付金の回収による収入	26,623	338
長期貸付けによる支出	—	△500
長期貸付金の回収による収入	120	976
資産除去債務の履行による支出	△9,716	△10,496
敷金及び保証金の差入による支出	△7,114	△2,925
敷金及び保証金の回収による収入	11,138	22,903
子会社株式の取得による支出	△2,000	—
その他	△13,409	△18,311
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,216,086</b>	<b>△117,347</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△50,692	△95,894
自己株式の取得による支出	△11,633	—
配当金の支払額	△201,820	△225,635
リース債務の返済による支出	—	△7,189
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△264,145</b>	<b>171,281</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△781,811</b>	<b>1,028,859</b>
現金及び現金同等物の期首残高	11,869,936	9,618,352
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>11,088,125</b>	<b>10,647,212</b>

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自2024年2月1日 至2024年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,643,428	4,282,942	15,926,370	—	15,926,370
外部顧客への売上高	11,643,428	4,282,942	15,926,370	—	15,926,370
セグメント間の内部売上高又は 振替高	101,842	27,117	128,959	△128,959	—
計	11,745,270	4,310,060	16,055,330	△128,959	15,926,370
セグメント利益	648,167	273,069	921,236	△198,042	723,194

(注) 1. セグメント利益の調整額△198,042千円は、セグメント間取引消去△96,757千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」において、損益又はキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において「食肉等の小売業」3,951千円です。

## II 当中間連結会計期間(自2025年2月1日 至2025年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	12,128,540	5,170,154	17,298,695	—	17,298,695
外部顧客への売上高	12,128,540	5,170,154	17,298,695	—	17,298,695
セグメント間の内部売上高又は 振替高	84,726	26,537	111,263	△111,263	—
計	12,213,266	5,196,692	17,409,959	△111,263	17,298,695
セグメント利益	500,730	239,062	739,793	△197,431	542,361

(注) 1. セグメント利益の調整額△197,431千円は、セグメント間取引消去△79,092千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,339千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」において、損益又はキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において「食肉等の小売業」30,975千円です。